

【記載例】 < (公財) 京都府スポーツ協会・競技団体会長あて2通作成する >
 [様式1-A: 新規登録]

ふるさと登録届

公益財団法人京都府スポーツ協会
 会長 西脇隆俊 様
 競技団体名
 会長 ○ ○ ○ ○ 様

選考会・予選会参加申込期日までの届出日を記入
 漢字にふりがなを記入
 楷書で丁寧に記入

届出日: 年 月 日

必ず、押印すること

競技団体名・会長氏名を
 確認して記入
 西暦で記入

ふりがな	
該当者氏名	○ ○ ○ ○ 印
【性別】 1. 男 2. 女 *いずれかに○印を付けること	
【生年月日】 年 月 日	

国民体育大会ふるさと選手制度により私の「ふるさと」を【京都府】として、次のとおりお届けします。
 なお、「ふるさと選手制度」の使用にあたっては、下記留意事項を遵守いたします。

1 参加競技名 (種別及び種目名を含む)

あれば記入

競技	種別	種目
----	----	----

2 現住所

7桁の番号を記入
 正確に略さず記入 (アパート・マンション名室番号まで)

ふりがな	電話番号
漢字にふりがなを記入 【所属 (学校名、勤務先)】	
所属先名を記入	

3 連絡先

現住所の記入注釈に同じ
 市外局番から記入

ふりがな	電話番号
(現住所と同じ場合は、「同上」で可)	携帯電話番号

4 「ふるさと」に関する確認事項

1. 又は2. のいずれかに○印

前回参加した大会 (予選会を含む) の
 大会数と所属都道府県を記入

(1) ふるさと登録の利用 利用回数 1. 初回 2. 2回目	(2) 前回大会出場の所属都道府県名 回 都・道・府・県
--	------------------------------------

(3) 卒業した学校名

正確に記入 (京都府立○○高等学校など)
 年度ではなく卒業の年月を西暦で記入

ふりがな	卒業年月
	年 月 卒業

*○○高等学校又は○○小学校、○○中学校など学校名を明確に記載すること。

(4) 卒業した学校の所在地

現住所の記入注釈に同じ、確認して記入

ふりがな	電話番号

*都道府県名から記載すること。

【記載例】 < (公財) 京都府スポーツ協会・競技団体会長あて2通作成する >
 [様式1-B: 継続使用]

特別国民体育大会・第78回国民スポーツ大会冬季大会ふるさと選手制度使用申請書

公益財団法人京都府スポーツ協会
 会長 西脇隆俊様
 競技団体名:
 会長 ○○○○様

選考会・予選会参加申込期日までの届出日を記入
 漢字にふりがなを記入
 楷書で丁寧に記入

届出日: 年 月 日

必ず、押印すること

ふりがな	印
当該競技者名	
〔性別〕 1. 男 2. 女 *いずれかに○印を付けること	
〔生年月日〕 西暦 年 月 日	

競技団体名・会長氏名を確認して記入
 西暦で記入

標記大会について、国民体育大会ふるさと選手制度により下記内容のとおり、使用申請いたします。

1 参加競技名 (種別及び種目名を含む) あれば記入

競技	種別	種目
----	----	----

ふるさと選手制度を使用して何年目になるかを記入 前回参加した大会 (予選会を含む) の大会数と所属都道府県を記入

2 「ふるさと選手制度」使用に関する確認

利用状況(今回の使用を含む)	前回出場大会の所属都道府県
1 初回 () 年連続	回 都・道・府・県
2 2回目 () 年連続	

*利用状況については、1又は2のいずれかに○印の上、連続年数を記載すること。
 *前回大会(予選会を含む)に出場の所属都道府県名を記載すること。

3 正確に記入 (京都府立○○高等学校など) 年度ではなく卒業の年月を西暦で記入
 卒業した学校名

ふりがな	卒業年月
	年 月 卒業

*○○高等学校又は○○小学校、○○中学校など学校名を明確に記載すること。

4 7桁の番号を記入 正確に略さず記入 (アパート・マンション名室番号まで)
 現住所 (登録した現住所に変更がない場合も記入すること。)

ふりがな	電話番号
〒	
漢字にふりがなを記入	
【所属 (学校名、勤務先) 市外局番から記入	

5 連絡先 (登録した連絡先に変更がない場合も記入すること。)

ふりがな	電話番号
〒	
現住所の記入注釈に同じ (現住所と同じ場合は、「同上」で可)	
	携帯電話番号

- ふるさと選手制度使用に係る留意事項
- 「ふるさと」とは、卒業小学校、中学校又は高等学校のいずれかの所在地が属する京都府とする。
 - 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、あらかじめ所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。
 なお、一度登録した「ふるさと」は、変更できないものとする。
 - ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
 - 「ふるさと」から参加する選手は、開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③ (国内移動選手の制限) に抵触しないものとする。